

令和 6 年度 市長記者会見 発言要旨

令和 6 年 8 月 26 日（月）開催分

< 開催時間 > 14:00～14:40

< 会 場 > 庁議室（市役所本館3階）

< 会見案件 > 9月補正予算案の概要
未来を拓く奨学金返還支援事業
ふるさと納税の新たな取組
福井駅発!「ぐるぐる周遊バス」実証事業
スマホ de 健康ポイント事業スタート!
北陸デスティネーションキャンペーン期間の取組
「福井市版 20%ルール」の導入
スマートビズ（通年ノーネクタイ&スニーカー着用）開始

< 出席者 > 市長、副市長、総務部長、財政部長、市長公室長、職員課長、移住定住交流課長、財政課長健康
管理センター所長、観光振興課長、文化振興課長、スポーツ課長、しごと支援課長、都市整備課長、地域交通課長、
公園課長、

< 質疑応答 >

【記者】

アリーナの予算についてお伺いします。周辺環境の整備に踏み切った理由と、調査結果をどのように活用し、今後どのように展開していくのか、教えてください。

【市長】

今回の予算の提案についてですが、前回の 6 月議会での特別委員会で次のステップへの移行が議論され、池上議長からも市民により良いものを提供するためのフェーズに進むべきとの発言がありました。そこで、私たちは次のステップとして、具体的なアクションを起こすための補正予算を提出しました。この予算は、実際に取り組むためのものであると考えています。

【記者】

一部の周辺住民からは騒音や道路の問題について不安の声が上がっており、住民説明会でも意見が寄せられています。この調査を通じて、市民にどのような結果を示し、どのように対応していく予定ですか。

【市長】

ご指摘の通り、説明会では騒音や交通の影響について懸念の声がありました。これに対して、私たちは具体的なデータを用いて説明し、騒音や交通関連の問題について対策を講じる必要があります。そのため、今回の調査を通じて基本的なデータを収集し、それに基づいて説明を行い、対策を検討することが重要です。予算要求はこのためのものであり、具体的なデータの収集が目的です。

【記者】

調査結果が明らかになる時期や、年明けには国への申請も控えていると思いますが、上半期のスケジュールについてお聞かせください。

【市長】

やるべきことを進めながら、同時並行で進めていくつもりです。今回の予算は令和 6 年度の補正予算であり、6 年度中には完了する見込みです。具体的な期間についてはまだ分かりませんが、担当課に確認していただければ、全体のスケジュールをお見せできるかと思います。

【記者】

市長として、アリーナ構想はしっかりと期限までに進めていきたいという考えでしょうか。

【市長】

経済界が主体としているプロジェクトに対して、私たちも支援し、期限までの完成に向けて協力していく考えです。

【記者】

ふるさと納税の商品券型返礼品の使用については、地場産品に限るなど使用制限があるとのことですが、どのような店舗で利用できるのか、またどのように使用していただきたいのかをお聞きます。

【市長】

商品券は福井市内の店舗で利用可能です。利用可能な店舗には、地場産品を取り扱っている店や、体験型のサービスを提供している店舗です。宿泊施設などでも使用できるようにしています。目的としては、福井市に足を運んでいただき、市内で消費してもらうことです。商品券を利用することで、市内の観光地や宿泊施設などでの消費を促進し、福井市に訪れていただく機会を増やしたいと考えています。

【記者】

体験型を含む商品券を導入することで、福井市に足を運んでもらうことを目的としているということですか。

【市長】

体験型のサービスに関しては、特に注目されており、福井市に来ていただかないと体験できないものが多いため、このような商品券が有効であると考えています。商品券を利用することで、旅行や体験を通じて福井市の魅力を体感していただけることを期待しています。